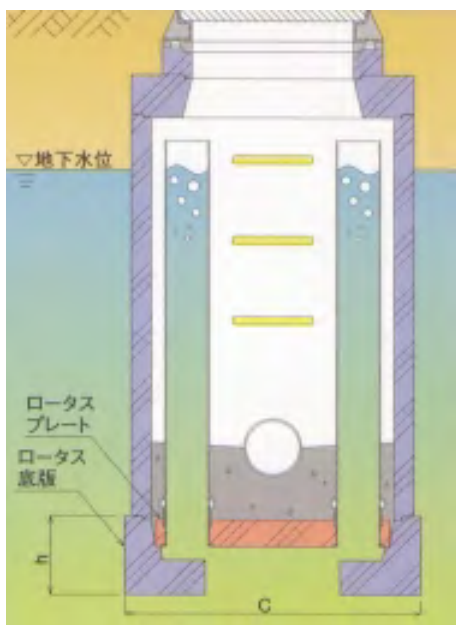


アドロータスホール(液状化浮上防止マンホール)

阪神大震災を契機に地震時に対する設計施工指針の見直しが大々的に行われてまいりました。しかしながら、2004年の新潟中越地震の液状化によるマンホールの被害状況等から、まだまだ対策が十分でない状況にあります。

アドロータスホールは、新設マンホールの耐震化対策として、地盤の液状化に対するマンホールの**浮上防止機能**を有しております。その機能は、マンホールの底版部に**排水孔**を設けることで、液状化による水圧変化に対して、排水孔からマンホール内に泥水を導き、マンホールに作用する浮力を打ち消して、**浮上防止効果**を図るものです。(既設マンホールにも対応できます。)

アドロータスホール組合せ例



アドロータスホール



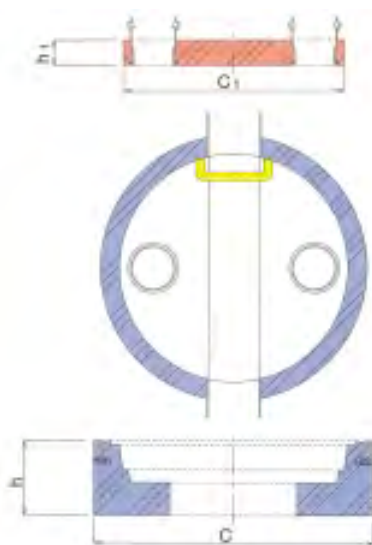
新潟中越地震では液状化現象によりマンホールが浮上しました。

ロータスプレート

単位:mm

部材		寸法		C1	h1	孔径(φ)	孔数(個)	質量kg
0号	LM0PT	720	100	720	100	125	2	100
1号	LM1PT	870	100	870	100	150	2	146
2号	LM2PT	1170	100	1170	100	200	2	263
3号	LM3PT	1470	100	1470	100	200	4	416
4号	LM4PT	1770	100	1770	100	200	4	603
5号	LM5PT	2170	100	2170	100	注1	注1	906

ドレンパイプ長さは、地下水位を考慮して決定します。
注1 孔径及び孔数は状況に応じて決定します。



ロータス底版

単位:mm

部材		寸法		C	h	有効高さ	質量kg
底版 I種	0号	AM0PT	950	950	295	280	283
	1号	AM1PT	1100	1100	295	280	347
	2号	AM2PT	1450	1450	315	300	702
	3号	AM3PT	1800	1800	315	412	1110
	4号	AM4PT	2120	2120	432	442	2180
	5号	AM5PT	2580	2580	462	442	3510